

カワウ急増



食害深刻化

カワウ 沿岸部や内陸の川や湖など幅広い水域の周辺に生息し、水に潜って魚を食べる。1970年代に内湾の埋

クリック

め立てや水質汚濁により激減の群れで行動し、水辺の樹上など全国で3千羽程度となった。季節によって捕食する水域を変える。

広島県調査 32カ所に3500羽

広島県内にはカワウ＝写真右＝の集団営巣地(コロニー)やねぐらが廿日市市や広島市などに計32カ所あり、飛来が増える冬から春にかけては生息数が計3500羽に及ぶとの調査結果を、県が初めてまとめた。かつては絶滅寸前まで減ったが近年急増しているとみられ、アユや養殖魚を食べる被害が深刻化している。調査結果を基に、減少に向けた管理計画を策定する。(根石大輔)



太田川の中州に集まったカワウ(昨年12月9日、広島市中区白島北町)

広島県が昨年3月に調査した県内のカワウの生息状況

	生息数	生息場所
廿日市市	1284	宮島町の厳島
広島市	541	中区白島北町の太田川中州など3カ所
福山市	513	神村町の浜池など5カ所
呉市	334	倉橋町の鹿島など7カ所
大崎上島町	260	中野の大相賀島
三次市	164	東酒屋町の池など2カ所
世羅町	121	黒川の黒川大池など3カ所
東広島市	74	福富町の福富ダムなど2カ所
三原市	51	本郷町の沼田川など2カ所
江田島市	50	大柿町の引島
尾道市	42	因島大浜町の八重子島など2カ所
庄原市	40	三日市町の国営備北丘陵公園
安芸高田市	32	八千代町の土師ダム
安芸太田町	11	加計の温井ダム
計	3517	32カ所

県、管理計画策定へ

日本野鳥の会広島支部と連携し2014年7月と12月、15年3月の計3回、目撃報告がある場所を観測して調べた。沿岸部を中心に14市町の32カ所にコロニーやねぐらがあり、7月には計約1600羽、12月と3月にはそれぞれ計約3500羽を確認した。3月の生息数は、市町別では廿日市が最も多く1284羽。厳島の杉之浦がねぐらとなっている。次いで広島市が541羽。太田川の中州や南区にある離島・峠島など3カ所が生息拠点となっている。福山市513羽(5カ所)▽呉市334羽(7カ所)▽大崎上島町260羽(1カ所)と続く。県自然環境課は「数の増加や生息地の広がりを裏付ける調査結果だ」とみる。県内のカワウの捕獲数は06年は46羽だったが、14年には903羽に増加。約10年前も検討したいとしている。

から生息数が急増している。とみられ、川に放流したアユや養殖のメバルなどに被害が出ている。県内水面漁協連合会(広島市中区)によると、県内の19漁協が放流したアユの被害額は推計で計約4500万円に上る。国はカワウを全国で半減させる目標を掲げており、県は鳥獣保護法に基づき、減少目標を示す管理計画を策定する。コロニーに集まったところを銃で駆除する方法などを想定している。調査は本年度も続けたいとしている。

参院選 労組団 連立 日、広島市中 日、広島市中 日、広島市中 日、広島市中 日、広島市中

「水爆実験」相次ぎ抗議

政府に断固たる姿勢で対処するよう求めた。

島根県は危機管理連絡会議を開き、大気中の放射性

瀬戸内海の消失干潟・藻場 修復計画の半分完了

整備局など

が大部分を上 の上にきれい

の核実験に抗議 発表した。